

インターンシップ報告書

研究開発型企業ツクバリカセイキ(株)

歩み・Jobシステム・企業形態

筑波大学 人文社会科学研究科 1年

風見遼佑

インターンシップ報告書

動機と会社選択の理由

1. 就職活動に臨む前に「そもそも会社とはどんな仕組みで動いているのか」「自分の仕事が組織全体の中でどんな位置を占めることになるのか」という漠然とした疑問に対する理解を少しでも深めたかった。そのために実際に会社で働き、社会人の方々と触れ合うという体験を試してみたかった。
2. 就職活動にあたって、自分の研究や趣味として興味を抱いていることだけからのみ、業界・職種を考えようとしている自分に気づいた。こうした固定化した自分のイメージを壊し、より広い視野をもって就職活動に臨むために、自分の専門や興味とは異なる業界・職種でインターンシップを行いたいと考えるようになった。

受け入れ先：ツクバリカセイキ(株)

本社 茨城県つくば市 要212

東京営業所 東京都千代田区 内神田2-10-2Uビル6F

名古屋事務所 愛知県名古屋市西区 城西町81

中国事務所 中国廣東省中山市小欖鎮聯豐路九州基興隆工業区

創業 1983年

資本金 2000万円

従業員 17名

事業 流体関連技術にもとづいて各種研究設備，流体計測システムの開発・製造を行う研究開発型企业（ファン風測定システム，ピトー管，マノメータ，煙・シャボン玉発生装置など）

期間と体験した主な業務内容

2007年8月1日～10日（土日除く）の8日間 9:00 - 17:00

1日：会社の成り立ちに関する説明（見学・会社の目的・組織構成・会社法等）

2日：財務諸表の見方・作り方（バランスシート・損益表・資金繰り表）

3日：営業からの製品紹介・技術業務紹介・Jobシステムの概要と操作

6日：Jobシステム操作（納品書，請求書，売り上げ伝票の作成・注文書のチェック・住所録の記入）

7日：就業規則紹介・振替伝票の記入・銀行端末操作・会計ソフト操作（伝票のPC記入）・社会保険労務士さんのお話

8日：会計ソフト操作・決算書，固定資産税，在庫表の説明

9日：資金繰り表の操作・質問と社長のお話・レポート作成

10日：レポート作成・発表

報告内容

- ・ツクバリカセイキ(株)(TRS)の歩みと中山社長の考え
- ・TRSのJob管理システム
- ・TRSの能率給制度
- ・TRSの形態：ファブレス

1. ツクバリカセイキ(株) (TRS) の歩みと中山社長の考え

TRSの性格

規模の小さい市場で誰もやらない事業に取り組む。いわばオンリーワンの企業。

TRSはどのように進展してきたか

効率を重視したシステム (Job管理システム・能率給・ファブレス)

旧理科精機：固定費増大と利益減 倒産

ファブレス：工場を持たず、研究開発にのみ従事する企業のこと。

Job管理システム：TRSが独自に採用する仕事・伝票・能率給等の管理システム。

能率給：残業を排した能率ポイントにもとづく給与制度。

コストダウンと高い効率性を実現したこと。

オンリーワン製品の製造：TRSの主力製品：「ファン風量測定装置」

製品サイクルが非常に長い。一度納品したらほとんど壊れないような製品。

納品したら終わりという製品では市場が減少してしまうのでは？という疑問が生じる。

流体関連技術とパソコンを組み合わせる。パソコンが8ビット、16ビット、windowsと進歩するのに応じて、それに合わせた流体計測システムを開発し販売することができた。

デファクトスタンダード (業界標準) の地位を得た。日本ではTRSの製品が規格になっている。リプレイス (他者の製品で置き換えること) ができないオンリーワンの製品であるということがもたらす信頼がある。特許の取得もその信頼を保つことに役立っている。

パソコンの進展という時代の流れとTRSが持つ技術がうまくかみ合ったこと、オンリーワン企業であり続けるための努力が高い信頼を得たこと。

中国への展開

同じことを続けているだけではいけない。常に変化・進歩することが必要。

需要拡大が見込める中国への進出。より一般的なユーザーへと市場を広げるため、スキマではない産業に取り組むため、中国で大量生産を学ぶ。(例：換気扇の風量を現場で測る小型測定器)。

2 . TRSのJob管理システム

TRSが独自に採用している仕事・伝票・能率給等の管理システム。

- ・ Job管理：会社に入ってくる仕事の詳細管理
- ・ 仕入伝票：現金収入伝票の作成・管理
- ・ 交通費伝票：現金交通費伝票を作成・管理
- ・ 出張日当伝票：現金出張日当伝票を作成・管理
- ・ 購入伝票：現金購入伝票の作成・管理
- ・ 能率給集計：能率給の集計・管理
- ・ 受注・納品先登録：受注先・納品先の登録
- ・ 仕入・購入先登録：仕入先・購入先の登録

Job管理表

TRSでは全ての仕事にJob番号をつけている。Job管理表をみればその仕事の担当者、進捗状況、予定原価、確定原価、受注金額、確定粗利などを一目で確認することができる。

仕事の効率を高める役割。情報を全員で共有できるためチェック機能としての役割も果たしている。

将来の予測に関して

会計データは過去のデータであるため、これだけを参照して事業の発展に伴う将来の予測をするのは難しい。TRSではここでも（会計に記載される前の？質問する）Jobデータを有効に用いている。

例えば、受注残・受注予定 ・受注予定 の項目・受注先を参照することで、これからどれだけの入金・仕入れ料があるか、どんな業界から多く受注がきているかを確認し、決算予測や事業展開の戦略を練ることができる。

過去のデータの参照という点で非常に効率性の高いシステムであるとともに、企業戦略を立てる上でも重要な役割を果たしている。Job管理システムはまさにTRSのコアだといえる。

3 . TRSの能率給制度

残業

労働基準法36条の協定をもとに会社と社員が契約を結んで行う。

TRSでは、残業を排している。残業が生じた場合はそれに相当する代休をとることになっている。代休日は、残業代の100%を超える部分（つまり通常残業：25%、休日出勤：35%、深夜残業：50%）が支給されることになる。

能率給制度

残業代に関する問題点

帰宅する時間が早くわずかな残業代しか受け取っていないのに、重要な仕事を多く

こなす社員/会社にいる時間が長い、事業への貢献度はそれほど高くない社員

4 . TRS の形態：ファブレス(fables, fabric less)

ファブレス：工場を持たずに生産をアウトソーシングする企業．

ファウンドリ：他社からの委託による生産を専門に手がける企業．

ファブレス出現の背景

1980 年代アメリカの半導体不況と半導体工場の設備資金の肥大化の問題を解決するために考えられた経営手法．

メリット

- ・ 自社は企画・開発・研究・販売に経営資源を集中できる．
- ・ 自社にない外部の技術・設備・人材を活用できる．
- ・ 設備投資の資金を節約できる．
- ・ 加工の細部にわたって得意な企業を選定することができる．
- ・ 事業撤退の際もコストを最小限に抑えることができる．

デメリット

- ・ 自社生産ではないため，外注先の生産工程までは目が行き届きにくくなる．

TRS では??

中国での品質管理が問題になるのではと考えた．

日本では問題なかったが，やはり中国では信頼できる工場が少ない．

品質管理基準 iso9000 認証取得と実質の差が存在する．

- ・ 自社生産ではないため，製造スキルの蓄積が行われない．

TRS では??

換気扇のノウハウは工場のほうに蓄積している。

本当の製品の開発力を保つために、試作品までは本社で製作しノウハウを蓄積する必要がある。

その他のファブレス企業

資金力の乏しいベンチャー企業や半導体等のハイテク企業が採用してきたファブレスは、今では多くの業界・企業で採用されている。

- ・ ナイキ：自社工場を持たず、製品の企画・デザイン・販売に特化した企業
- ・ DHC・ファンケルなどの通販化粧品会社：自社で開発した商品を、ファブレスではあるが自社の責任で製造し、自社の店舗で販売。